

# 第二章活用事例

「みんなのために」

「フローレンス・ナイチンゲールのものがたり」

小学校一・二年生版

「心あかるく」 p.70  
～  
p.75

【主題名】 みんなのために働く

第一学年及び第二学年 4・2

「働くことよさを感じて、みんなのために働く。」

【ねらい】 働くことよさを感じて、みんなのために働くことよさを育む。

《ねらいとする道徳的価値について》一・二年生の時期の児童は、身近な人のために働くことを楽しく感じているものの、自分本位であったり、具体的にどのようなすればよいか分からなかったりするということがあります。相手の立場になって考えて働くことよさを、そこから得られるやりがい、自分の成長などに気付くことができれば、より指導していくことが大切です。

## 導入



「フローレンス・ナイチンゲールという人を知っていますか。」

○フローレンス・ナイチンゲールの写真を見せ「心あかるく」 p.75の説明を参考に資料への興味をもたせましょう。

○教師が「みんなのために」を読み聞かせましょう。



「フローレンスは、服や食べ物を配る活動をしながらか、どのようなことを思っていたでしょうか。」

○誰かのために頑張ろうと思っているフローレンスの気持ちに気付かせましょう。



「キースさんに『いらん』と言われた時、フローレンスは、どのようなことを思っていたでしょうか。」

○今までの人々と違って、「服や食べ物はいらん」とキースさんに断られた時のフローレンスの困惑した気持ちを捉えさせましょう。



「フローレンスは、窓の外の景色をながめながら、どのようなことを思っていたでしょうか。」

○キースさんを喜ばせられたために自分ができているのかを考えているフローレンスの気持ちを捉えさせましょう。



「笑顔になったキースさんを見て、フローレンスはどのようなことを思っていたでしょうか。」

### 中心発問

○相手のことを一生懸命に考えてから行動し、喜んでもらったフローレンスの喜びや達成感を捉えさせましょう。

《評価》フローレンスの気持ちになって考え、相手のことを考えて行動したことのできた喜びに共感できたか。



「普段の生活で、みんなのために働いてよかったと思っただことはありますか。」

○「心あかるく」 p.106～p.107 ⑬ はだらくって すはらひつゝ」に記入させ発表させましょう。

○発表では、したことだけでなく、その時にどのように思ったか、どのようなことを心掛けたかなどを引き出し、相手のことを考えて働く大切さを子供たちと確認しましょう。

## 終末

○教師自身が、働いてよかったとやりがいを感じた体験を、子供たちに語りましょう。

## 板書例

みんなのために

フローレンス・ナイチンゲール

p.75  
フローレンスの写真

- ・ イギリスのかんじし・学者
- ・ かんじきよういへの母
- ・ せんそうのときに、とき・みかたをくべつせずにてあてした。

ふくや食べものをくばるかつどうをしながら、どのようなことをおもっていたでしょうか。

- やくに立ててうれし。
- もっとたくさんの人をよろこばせたい。

キースさんに「いらん」と言われた時、フローレンスは、どのようなことを思っていたでしょうか。

p.71  
「いらん」と言われた挿絵

- どうしていらんないの。
- こまらないのかな。
- おこっているみたい、どうしよう。

フローレンスは、まごの外のけしきをながめながら、どのようなことを思っていたでしょうか。

p.72  
窓の外を見ている挿絵

- どうしておこっていたのだろう。
- びょうきのキースさんをはげましたい。
- キースさんがよろこんでくれることは、何だろう。

えがおになったキースさんを見て、フローレンスはどのようなことを思っていたでしょうか。

p.73  
歌を歌っている挿絵

- 歌を歌ってよかった。よろこんでもらえた。
- 「らくになったよ」と言われてうれし。
- キースさんのびょうきが早くなるといいな。
- 人によってほしいものはちがうんだ。
- また、役に立てるようにがんばろう。

みんなのために働いてよかったと思っただことはありますか。

- 教室のゆかにおちているごみに気づいたらすぐひろうようにしている。
- 本だなの本を、さがしやすいうようにせいとんしていたら、みんなにありがとうと言われた。

### 《評価》

働くことよさを感じて、みんなのために働くことよさを育むことができたか。